

平成24年度 防災教育全体計画

仙台市立長町小学校

学校教育目標

豊かな心とたくましい体を持ち、進んで学び、共に高め合う長町の子

児童の実態

本校は、明治6年に開校した歴史と伝統のある学校で、児童数約850名の大規模校である。体育活動を中心に体力・運動能力の向上に積極的に取り組んでおり、児童の関心も高い。また、学年の枠を超えた縦割り活動も盛んで、児童同士のつながりが強く、子供会活動や地域の行事にも積極的に参加している。

地域の実態

本校は、地下鉄や JR 東北線の長町駅に近く、国道をはじめとする道路網も整備された仙台市の南部に位置している。交通環境の発展に伴い、宅地化が一層進み、マンションの建設が目立ち高層化の兆しを見せている。それに伴い、地域全体の意識にも多様性が見られるようになってきたが、地域や保護者は、学校の教育活動に対して協力的である。

防災教育の目標

—自らの危険を予測し、回避する能力を高める防災教育の推進—

- (1) 自然災害に関する正しい知識を身につけ、災害時に危険を予測し、自分の命を守るために行動できる児童の育成（自助）
- (3) 支援者として互いに協力し合い、地域のために進んで行動できる児童の育成（共助）

推進の視点

防災体制の整備充実

- ・災害時の危機管理能力の向上と地震対応マニュアルの整備
- ・教職員の役割の明確化と家庭や地域及び関係機関との連携
- ・通学路や避難経路、学校施設等の安全点検の実施

新たな防災教育の推進

- ・教育活動全体を通じた防災教育の推進
- ・多様な避難訓練の実施
- ・防災副読本の活用

指導力・実践力の向上

- ・新たな防災教育の指導方法、指導内容の工夫を目指した校内研究の実施と授業実践
- ・教職員の防災リテラシーや応急処置能力の向上

各学年の目標

低学年

- ・どんな自然災害があるかや、災害から自分の命を守るためにはどうすればよいかについて知る。（知識）
- ・災害発生時には、周りの状況を判断し、自分の命を守るための行動を取ることができる。（技能）
- ・災害発生時には、大人の話をしっかり聞き、指示に従って行動できる。（態度）

中学年

- ・自然災害の種類について知るとともに、それに備えた学校や地域の防災対策があることを理解する。（知識）
- ・災害発生時には、周りの状況を判断し、自分の命を守るための行動を取ることができる。（技能）
- ・災害発生時には、進んで家族の手伝いをしたり、友達と助け合ったりすることができる。（態度）

高学年

- ・過去の自然災害について知るとともに、自然災害発生メカニズムについて理解することができる。（知識）
- ・災害発生時には、危険を予測し、自分の命を守るために適切な行動を取ることができる。（技能）
- ・初歩的な応急処置ができる。（技能）
- ・災害発生時には、学校では下学年児童の世話をし、地域では家族や友達、地域の方と協力し活動することができる。（態度）

各教科・領域との関連

各教科

- ・言語活動の充実と思考力・判断力の育成
- ・防災・減災に関する知識・技能の習得
- ・災害発生メカニズムや災害に対する地域の特性についての理解

道徳

- ・生命を尊重し、自他を大切にすらしや思いやりの気持ちの育成
- ・地域の一員としての自覚を持ち、進んで地域社会のために奉仕しようとする心の育成

特別活動

- ・自立心や責任感、共助の心を育むための縦割り活動の推進
- ・安全マップづくりや家族防災会議を通じた防災に関する自主的・実践的な態度の育成

総合的な学習の時間

- ・防災副読本を活用した授業の実践
- ・自助・共助の力を高めるための自分づくり教育の推進
- ・安全で安心な地域づくりについて考える態度の育成

【保護者・地域との連携】

- ・地域防災に関する保護者・地域との協働の取り組みの推進
- ・子供会、町内会と連携したボランティア活動の推進
- ・非常時に生きる「顔が見える関係づくり」を目指したPTAや町内会、商店街との連携
- ・地域の人材・素材等を活用した防災リテラシーの育成

